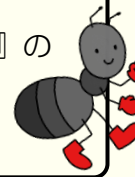


寒い日が続いていますが、子どもたちは冷たい風にほっぺを赤くしながらも元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいます。

1月はビニール袋にシールを貼って作った凧を持って、大学の芝生や園庭で「よーいドン」と走ったり、月齢が低い子どもたちは凧を手を持って、風に吹かれてふわふわ揚がる様子をじっと見たりと、それぞれ思い思いに凧揚げを楽しみました。

室内ではブロックを長くつなげて電車を作ったり、お人形を抱っこしたり、布団を掛けてあげたり、遊びを楽しむ中で、友だちと同じ遊びをしようと「いれて」と側に行ったり、おもちゃを「どうぞ」「ありがとう」とやりとりをするなど、微笑ましい姿も見られます。これからも子ども同士の関わりを見守っていきたいと思います。

2月の節分では、歌が大好きな子どもたちと『おにのパンツ』の歌に合わせて踊ったり、新聞紙を丸めて豆まきをしたりして楽しく過ごしたいと思います。



戸外へ行く時、自分で靴を履こうとしたり、帽子を被ったり意欲的な姿が見られます。ある日、Aくんが帽子を被ると顔がサンシェードで隠れていました。何度被り直しても顔が隠れていましたが、「よし！」と言わんばかりの達成感に満ち溢れた表情がとってもかわいかったです。

1月はスーパーの袋で作った凧を持ってたくさん走ることや、カルタ遊びなどのお正月遊びを楽しみました。カルタ遊びは繰り返し楽しむ中で少しずつ札を取れるようになり、取った札を友だちに譲ってあげる微笑ましい姿も見られました。

また、年末年始のお休み明けは、友だちと同じ遊びをする中で会話を楽しもうとする姿や、身の回りのことを保育者が手伝おうとすると「自分で」と言って手洗いや着替えに意欲的に取り組む姿が増え、大きな成長を感じました。自分でしようとする姿を見守りながら、できた喜びに共感し、自信につなげていきたいと思います。

今月は、鬼が出てくる絵本や新聞を丸めて作った豆で豆まきを楽しみます。また、みんなで大きな模造紙に、ローラーを使って赤や青などの絵の具を塗り、鬼を作る予定です。のびのびと表現する楽しさや喜びを感じていきたいと思います。



『Bブロック』という室内遊びのおもちゃが大好きな子どもたち。初めは平らにまっすぐつなげて遊んでいましたが、今は赤と白を組み合わせて立体にした『救急車』、黄色を長くつなげて『ドクターイエロー』など、イメージしたものを表現することを楽しんでいます。作ったものを友だちや保育者に見せたり、走らせたりし、それぞれに楽しむ姿が見られとても微笑ましいです。

冬本番の寒さの中でも元気いっぱいに遊ぶ子どもたち。積もった雪を集めて雪だるまを作ったり、厚い氷を手を持って観察したり、冬の自然を全身で感じながら楽しんでいます。園庭やグラウンドでは凧揚げを楽しみました。自分で作った凧を手を持ち、上手く膨らんで揚がるように後ろを確認しながら上手に走っていました。また、室内では子ども同士の関わりがさらに深まり、「こうしようよ。」「これもつかお!」と相談しながら、積み木やブロックを使って大きな共同作品を作り上げる姿が見られます。ままごとでのページェントごっこも、クリスマスを終えた今も続いて楽しむ姿が見られ、さんびかを歌う素敵な歌声が聞こえてきます。

今月も幼児園庭で元気に体を動かしたり、散歩に出かけて冬の自然現象などいろいろな発見に心を動かしたりしながら、一日一日を楽しく、元気に過ごしていきたいと思います。



りす組では毎日いろいろな種類のかるたを楽しんでいます。読み札を保育者が読んでいる途中に「はい!」と取れることもあり、とても集中しながら取り組んでいます。終わった後は「1、2、3…、〇〇まいもとれた!」「つぎこれ!」と、熱い気持ちをぶつける子どもたちです。